

治安の確保

○テロ対策

千葉港及び木更津港には、石油・ガス施設を擁するコンビナート地帯をはじめとする重要施設が数多く存在し、多くの外国船舶が出入しています。

千葉海上保安部では、これら重要施設に対する海上からの巡視警戒を実施するとともに、入港する外国船舶に関する情報を収集し、必要に応じて立入検査を実施するなど、警察、税関及び出入国在留管理局等の関係機関と連携して、テロの未然防止にあたっています。

また、「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保に関する法律」に基づき、外国船舶が自船の安全性を示すために我が国に入港する前に自船の情報について通報を行っています。この通報を受け、厳正な審査を行い、不審な点があれば立入検査等を実施し、必要があれば入港を禁止する場合があります。

【テロ対策合同訓練の様子】



○密漁の取締り

千葉海上保安部は、千葉県浦安市から千葉県館山市までの沿岸を管轄していますが、海浜は『あさり』や『ほんびのす貝』等の二枚貝が、磯場は『あわび』、『さざえ』、『いせえび』等が採れる漁場となっています。

近年、これら水産資源の漁獲量が減少しており、これら貴重な水産資源を未来に残していくため、各漁業協同組合では稚貝を放流するなど水産資源の保護培養に努めていますが、悪質な密漁行為が後を絶たない状況です。

このような状況から各漁業協同組合から強い密漁取締り要請を受け、千葉海上保安部独自で取締りを強化するほか、千葉県警察と合同取締りを実施するなど関係機関とも協力しながら悪質な密漁行為の根絶を目指し、重点的に取締りを実施しています。



【密漁された『さざえ』の状況】



【密漁された『いせえび』の状況】



【漁業協同組合員・千葉県警察・千葉海上保安部合同密漁取締り出動状況】

○密輸・密航の水際対策

入港する外国船舶には、覚せい剤等の禁止薬物やけん銃等の禁制品の密輸入を図る船員や、日本へ不法に入国しようとする密航者が乗船している可能性があります。

これらの犯罪を水際で阻止するため、外国船舶に関する情報収集、警察、税関及び入国管理局等の関係機関と連携した立入検査等の取締りを実施しています。

○違反船舶の取締り

千葉県沿岸は、貨物船による海上輸送の要衝であるとともに、余暇を楽しむプレジャーボートや水上オートバイ、漁業に勤しむ漁船など、さまざま船舶が昼夜を問わず行き交っています。

こうした状況から、千葉海上保安部では、船舶の無資格運航や無検査船舶の航行など、海難事故の発生に繋がりにかぬ法令違反を取締っています。

また、万が一、船舶による衝突など海難事故が発生した場合には、原因を特定するなどの所要の捜査を実施し、事故の早期解決及び再発防止に取り組んでいます。

○海上環境事犯の取締り

千葉から館山に至る沿岸海域には、貝類などの貴重な水産資源があるほか、のり網や定置網が多数存在し、また、海洋レジャーを楽しむため、多くの人が集まる海水浴場も複数所在しています。

このような千葉の海で、船舶からの油の不法排出、工場からの汚水の不法排出、廃棄物の投棄などが起きた場合、その影響は計り知れません。

千葉海上保安部では、このような海上環境事犯に目を光らせ、日夜取締りにあたっています。



【捜査のため海に排出された油の採取を行う海上保安官の状況】



【海に投棄された廃棄物(牡蠣殻)の状況】